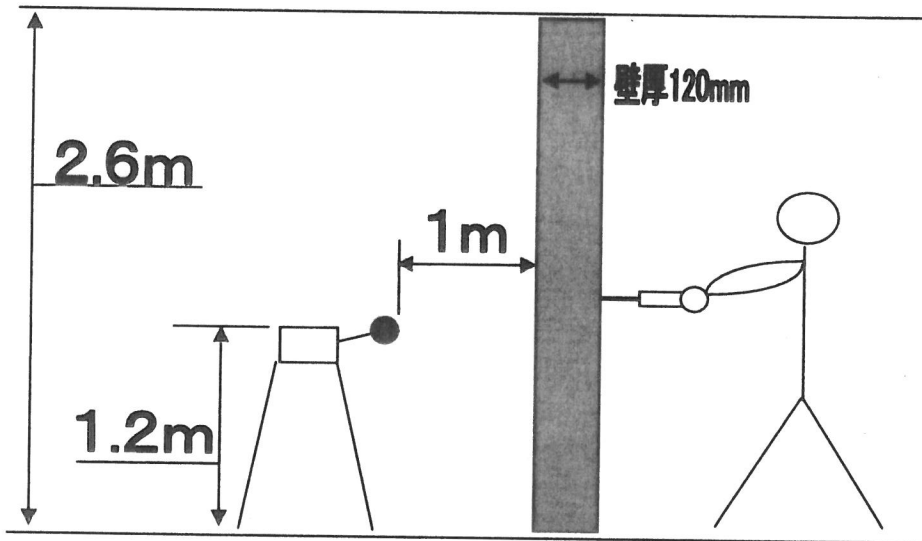


湿式低騒音ドリルT-2と振動ドリルの騒音測定比較

1. 期日：平成 18 年 11 月 14 日
2. 場所：日本総合住生活(株) 西浦和実験棟
3. 測定条件
 - (1) 対象ドリル
 湿式超低振動ドリル：FS テクニカル株式会社 T-2
 振動ドリル：ボッシュ PSB400-2
 - (2) 騒音測定器：リオン株式会社 NA-27
 - (3) 穿孔径：6φ×40mm
 - (4) 測定方法



4. 測定結果

単位 (Hz)	湿式超低騒音ドリル (T-2)	振動ドリル (PSB400-2)
31.5	20.0dB	40.0dB
63.0	33.9dB	40.0dB
125.0	48.4dB	53.1dB
250.0	46.5dB	66.8dB
500.0	46.9dB	77.3dB
1000.0	52.4dB	79.8dB
2000.0	55.6dB	80.5dB
4000.0	55.9dB	72.3dB
8000.0	51.6dB	67.5dB
補正騒音値 (単位:dBa)	60.9dBa	84.4dBa

※補正騒音値は周波数によって人の耳への感じ方が違います。そのため、騒音を測定する場合は、人の耳へどう聞こえるのかという値へと周波数別に補正します。dB の補正後の単位表現として dBa が用いられます。

湿式超低騒音ドリル (T-2) の場合が、振動ドリル (PSB400-2) より **23.5dBa** 低い結果が出ました。